

取組 38	学校支援センター等の充実
-------	--------------

【担当所属：義務教育課 生涯学習課 高校教育課】

1 現状

少子化、核家族化の進行や地域コミュニティの衰退により、子どもたちには地域住民と触れ合う機会や体験活動が減少してきています。

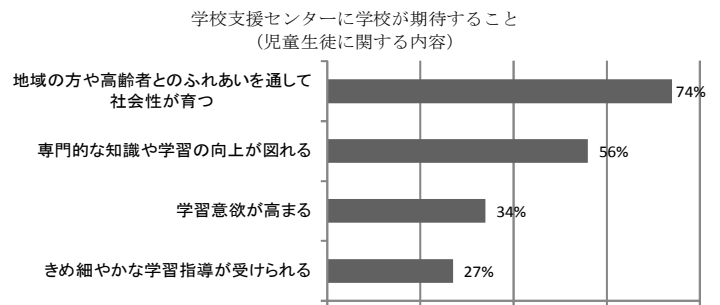
このような中、他者、社会、自然・環境と関わる体験活動を学校の教育活動において充実していくためには、教員だけでなく、専門的な資格や知識を有する外部人材や地域の人々の協力を得ることが必要になります。地域の人々等の協力により、子どもたちはより専門的な知識や技能を身に付けることができます。また、子どもに携わる人数が増えることで、より安全で効率的な学習活動を行うことができます。

(1) 小・中学校における学校支援センターの設置

現在、群馬県では、地域の人材（ボランティア）が学校の教育活動を支援する拠点となる学校支援センターをすべての公立小・中学校で設置しており、授業支援、安全パトロール、環境整備、地域の伝統文化体験等、多種多様な活動が行われています。平成24年度は、延べ745,544人の方に、ボランティアとして協力していただきました。しかし、ボランティアによる授業支援が行われていないなど、学校支援センターがあまり機能していないと回答している学校が約20%あり、取組への学校による温度差が見られます。

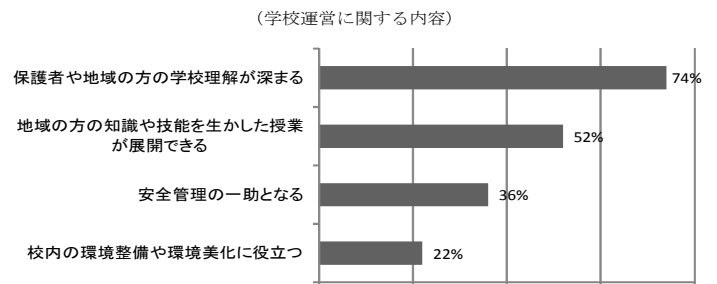
① 学校支援センターの状況

回答	学校数	割合
十分機能している	60	12.2%
機能している	333	67.5%
あまり機能していない	90	18.3%
ほとんど機能していない	10	2.0%



② ボランティアの活動状況

種類	人数	割合
安全パトロール	514,315	69.0%
授業支援	59,611	8.0%
あいさつ運動	59,014	7.9%
読み聞かせ・図書館整備	53,510	7.2%
環境整備	19,371	2.6%
部活指導	11,210	2.0%
放課後補充指導	8,697	1.2%
学校行事支援	4,014	0.5%
その他	15,802	2.1%
合計	745,544	—



(平成25年度学校支援センター運営推進状況調査)

(2) 高等学校における地域連携活動

各教科や総合的な学習の時間、特別活動等において、地域の人材を招いた授業や高齢者施設等での交流活動を行ったり、地域社会の一員としてボランティア活動に参加したりするなど、社会参画に関する学習内容の充実を図っています。

2 課題

- (1) すべての学校において、学校支援センター等、地域と連携した活動を十分に機能させること
- (2) ボランティア活動を調整するコーディネーターやボランティアリーダーとして主体的に活動する人材を育成すること
- (3) 学校の教育活動に地域人材等を活用すること
- (4) 教員の生涯学習・社会教育に対する知識・理解を高め、学校と家庭・地域とのつながりを持たせること

3 取組の方向

- (1) すべての小・中学校において学校支援センターの機能を一層充実させ、学校・家庭・地域が連携した学校づくりを進めるとともに、地域コミュニティの形成に寄与していきます。
- (2) 地域社会との連携を密にした教育活動を展開し、社会参画の意識を高めるとともに、主体的に課題解決に取り組む態度を育成します。
- (3) 地域住民の学校教育活動への協力と、児童生徒の地域活動への参加という、双方向の交流の推進に努めます。
- (4) 教員の生涯学習・社会教育に対する知識・理解を高め、学校・家庭・地域の連携に向けた意識改革を図ります。



学校支援センターを通じての書き初めの練習風景

4 主な取組内容

- (1) 学校支援センターの充実
 - ① 学校の教育活動に対するボランティアによる支援の状況等を調査し、「効率」「安全性」「専門性」を考慮した上で、ボランティアの協力を得る活動を充実させます。
 - ② 保護者や地域住民の積極的な協力が得られるよう、学校支援センターの活動を周知します。
 - ③ ボランティア活動を調整するコーディネーターやボランティアリーダーとして主体的に活動する人材を育成します。
 - ④ 学校訪問、研修や推進会議を通して、学校支援センターの取組を工夫・改善するための支援を実施します。
- (2) 小・中学校における土曜日の教育活動等における外部人材の活用を市町村教育委員会と連携しながら推進します。
- (3) キャリア教育等において、地域社会（地域住民、地域企業等）との効果的な連携を図り、社会との接点に関わる教育を推進します。
- (4) 高校において、地域の関係者等と連携して生徒が地域の抱える具体的な課題の解決に主体的に関わっていく体験的・実践的な学習を行い、社会の形成に参画し、その発展に寄与する力の育成を図ります。
- (5) 学校と自治会、生涯学習機関（公民館）の連携を推進し、双方向の交流に向けた取組を進めます。
- (6) 研修等により、教員の生涯学習・社会教育に対する知識・理解を高めます。

5 達成目標

目標の概要	基準年度の状況(H25)	目標年度の状況(H30)
(1) 学校支援センターが機能していると答えた小・中学校の割合	79.7%	100%
(2) 年間の学習計画に地域の教育力を生かした学習を位置付けている小・中学校の割合	79.8%(H24)	100%
(3) 児童生徒を地域行事等に参加させている小・中学校の割合	83.4%	100%